



千葉県立安房高等学校
チームあわわ



千葉県房総半島の南端にある館山市には豊かな自然や生態系を持った沖ノ島という陸繋島があります。しかし、2014年の大規模な台風被害によりアマモ場が消滅してしまい、沖ノ島の自然や生態系が損なわれたことから地域全体で協力し安房地域の環境を保護していく活動を始めました。

安房高では、1年生総勢240名で授業の一環としてアマモの種子選別や播種、栽培などを行い、アマモの再生活動に取り組んでいます。

また私たち生物部は「たてやま・海辺の鑑定団」「地域の自治体」「漁協や事業者」「大学や研究施設」「東京湾UMIプロジェクト」など様々な方々と協力して生物調査や環境DNA調査、栽培実験といった研究活動を行っています。本年度はアマモ栽培に適した砂質を特定し、そのデータをもとに館山湾内でアマモに適した地点を調査しました。また、海の自然環境は陸の環境とつながっていることを学び、陸の自然環境保全にも取り組んでいます。

今後は環境調査で見つけた地点への移植を行いアマモ場の復活に挑戦したいです。またチームあわわとして地域のみならず房総半島の自然環境を保全し、さらに東京湾UMIプロジェクトとして、東京湾全域にアマモ場や生態系を再生していきたいです。